

<p>本居 委員</p>	<p>意見、ご質問等お出しいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。 本居委員。</p> <p>先ほど教育長からもお話があった「子育て・親育ち講座」について、私から感想ですけれども、本当に中島みちる先生は何年も日野町に来ていただいて、0・1・2歳児の保護者の方や、幼稚園や保育園の保護者の方を対象に講座をしていただいているのですが、中島先生のお話はわかりやすく、それぞれの月例に合った講座をしていただいています。</p> <p>共通して感じるのは、子育てしていると、どうしてもイライラしてしまう、言葉かけもきつくなってしまいます。そういうことがどんなに子どもたちの脳に影響を与えているのか、これからの発達にかかっているかということ、本当に0歳のころから大切なんだということを丁寧に教えてくださるので、一人でも多くの方に聞いていただきたいということは毎年実感させていただいているところです。</p> <p>ぜひ、次から多くの方に聞いていただけるように必須になる講座にさせていただくことは、大変良いことだと思いますので、一人でも多くの方に、またそういう中で話を聞いて、自分がやっていた子育ては違っていたのかもと思っていただければ、その場で皆さんとまた共有しながら、一人で苦しむこともなく、みんなで助け合いながらつなげていけることになるのかなと思いますので、ぜひ続けていただきたいという感想を持ちました。</p>
<p>安田 教育長</p>	<p>ありがとうございます。柴田課長、いかがでしょうか。</p>
<p>柴田 課長</p>	<p>ありがとうございます。今、話していただいたように、できるだけたくさんの方に自らの気づきの機会を持ってほしいと思いますので、また全体により広がるような形で、家庭教育の関係とも連携しながら、いろいろな機会にできるように広げていきたいと考えております。</p>
<p>安田 教育長</p>	<p>生涯学習課とあわせてのイベントでございますので、一緒にタッグを組みながら進めていきたいと思っております。</p>
<p>加納 課長</p>	<p>よろしく申し上げます。</p>
<p>安田 教育長</p>	<p>ほか、皆さんよろしいでしょうか。</p>

安田 教育長	<p>(なし)</p> <p>次に移らせていただきます。</p> <p>~~~~~</p>
安田 教育長	<p>日程5 今後の予定</p> <p>「日程5 今後の予定」について、学校教育課から順次説明をお願いしたいと思います。</p> <p>(説明)</p>
安田 教育長	<p>ひとつおき今後の予定についての説明をしていただきましたが、ご質問などありましたらお出しいただきたいと思います。本居委員。</p>
本居 委員	<p>不登校のことですけれども、30日以上欠席の児童生徒で、日野中が6月から大変な数字になっているのは、私も実際に行かなくなったという子を含んで、行きにくくなったと耳に入ってくる数もここ最近多いなというふうに感じていたのですが、数字を見ても2倍に増えてきているので、気になるところです。</p> <p>原因というか、行きづらさの中身が何かはっきりわかるような問題なのか。行き渋りというか、何となく行きたくないという感じで始まっているのか。25人増えている中でどういった理由が多いのかということをお聞きしたいのと、中学校の学年でいうとどの学年が多いのか。25人増えている内容がわかれば教えていただきたいと思います。</p>
赤尾担当課長	<p>ご質問ありがとうございます。傾向としましては、1年生の増加がかなりあるかなと思います。3年生は逆に再登校が増えてきており、教室復帰ができていう、良い傾向の方が目立っているようにデータでは見えています。</p> <p>本当の要因ははっきりとわからないと思うのですが、見えている部分で言いますと、友だち関係のトラブルで、もう行くの止めておこうみたいな、すぐ休むという傾向と、勉強がわかりにくくなってきたみたいなところで、学校がつまらないと、これが大きな2つかなと思います。月例でもらっている文書だけで見るとそう思います。実際、何人かの不登校の中学生の子どもさんをお持ちの保護者やご本人と話をしても、同じような傾向かなと感じます。以上です。</p>

安田 教育長	本居さん、どうですか。
本居 委員	<p>私が聞いているところは、1年生が多いなというのは感じているのと、2年生も何人か聞いています。</p> <p>その中で、どういう理由なのか聞くと、授業がわからない、座っていてもわからないということをはっきり言われる方と、ちょっとしたきっかけでクラスになじめないということですので、今お話を聞いている限り、私の方に聞こえてくる話と同じ内容なので、そこが主な原因としてあるのかなと感じています。</p> <p>やはり、簡単に、ご本人さんにとっては簡単にではないのかも知れいのですけれども、すぐ休むという、簡単な選択をされているのかなというのは感じているところなので、何とか今増えてきた不登校になり始めた子にアプローチができれば、何かいい方法はないのかなと感じているところです。</p> <p>やはり休みが続くと、さらに行きづらくなるころではあると思うので、何とか最初の段階でアプローチしていけたらと思います。</p>
赤尾担当課長	<p>2つの柱で考えなければいけないと思っています。1つは、もうすぐに行きにくくなっている子どもさんをたちまちどうするのか。もう1つは、増えている極端にすぐやめてしまうというところ、ここをどうするのかということだと思っております。</p> <p>まずは1つ目のところで言うと、事例で、いろいろかかわっているケースで良くなっていく段階で見ているものがあって、家でしっかり、どんな事情があったにせよ、きちんと休んで元気になるかわかりをしてもらえたこと。その次に、中学生は特にですが、仲間、先生よりも友だちからのちょっとした声掛けや配慮とか、そこに先生からの手紙とか交換日記とか、人との接点がじわじわと入っていくと元気になるという、そして外へ出ていこうという流れの方が多いと思うので、その点が手だてになるのかなと思います。</p> <p>もう1つ、予防的なところですが、感情調節とか、あるいは対人関係で「お互い様」と折れ合ったり、折り合いをつけることの練習は、中学校に入ってからすぐにできるものではなくて、乳幼児期からずっと日々の生活を含めての体験・練習、あるいはなぐさめてもらったり、間をとりもってもらったりという経験が、大人も応援してあげないといけないし、先生も教えてあげないといけないしという感じなので、その</p>

<p>安田 教育長</p>	<p>辺でいうと、SELという取り組みがそこにあって、これをまた来年度、各学校において、取り組めたらいいなというふうに思っています。</p>
<p>赤尾担当課長</p>	<p>将来的なことはそうかもわかりませんが、現実的に今これだけの人数がいるので、その子たちにどう対応するのかということはどう考えていますか。</p> <p>まず1つ目でお話しさせてもらったような、学校が子どもさんとどうつながるのかということ、担当者会などできちんと伝えながらアプローチしてもらうことと、段階を踏んでだと思のですが、別室とかの活用ができるように、ちょっとずつつながっていけるようにアプローチしてもらえたらいいなと思っています。</p> <p>そのためには、別室の体制がある程度揃ってないといけないので、その辺が今後の課題だと考えております。</p>
<p>安田 教育長</p>	<p>去年も同じように、1年生の2学期から3学期にかけて増えてきたと思うのです、感覚的に言っているのですけれども。</p> <p>先ほどの通信の12ページに書きましたが、「学校を休むことへの抵抗感が低くなってきた」とか、「他者や自分自身との調整能力が落ち込んでいる」とか「0か100で相手を決めてしまっている」とか、「学校からあっさり撤退して休んでしまう」とか、そういう傾向はあるのだけれども、もっとつぶさに休んでいる子どもたちの状況をきちんと分析しないとイケないなと思うのです。</p> <p>今もあったように、雑駁な分け方からすると、1つ目は、勉強がわからなくてドロップアウトしている子がいる。2つ目に、発達にいろいろ課題があって、個別の支援が十分できていなくて、その対応がうまくできていないために休んでいる傾向の子がいる。3つ目として、友人関係でトラブルになって、そこへの対応がまだ十分できていないままで休んでいる子がいる。4つ目は先生とのトラブル、先生との相性が合わなくて、チャンネルが合わなくて休んでいる子がいる。5つ目は、家族間のいろいろな人間関係の中で、叫びが受け止めてもらえなくて不登校に走っているという、詳しくはどういうケースなのかわからないのですけれども、そういう5つぐらいあるのではないかと思います。そのそれぞれに向けて対応していかなければならない。</p> <p>山中先生にお願いしていきますが、勉強がわからなくてドロップアウトしていくということは、あってはならないことだと思います。昨日も</p>

	<p>校長会の中で、もっと子ども一人ひとりが「わかった」ということがしっかりとできているような授業でないといけないけれども、あまりにもスピード感が早すぎて、わからないままどんどん、わかった子だけが発言してしまって、さも学級全体がわかったかのような授業のスピードで物事が進んでいるということが一番だめだと思います。</p> <p>授業を見ていて、教師が発言して、Aちゃんが答えました。正解、次にいきましょうという形でなくて、「Aちゃんが答えたことをBちゃんはどう思う?」「AちゃんとBちゃんが言ったことをCちゃんはどう思う?」といったようなことで、1つの理解を学級が全体でつくって、そのうえで次の段階に進んでいくということがないと、わかった子だけの授業で物事が進んでいるというような授業で、やはりドロップアウトが起こっているというふうに思うのです。</p> <p>しっかりと基礎を固めていくことを丁寧にしていくということが課されているということなので、基礎を積み重ねていくということがこれからも本当に大事だと思っています。</p> <p>不登校のケース一つひとつを紐解きながら、丁寧に対応していただきたいと思っています。よろしいでしょうか。</p> <p>(はい)</p> <p>安田 教育長 では、ほかにないようでございますので、今後予定についての説明は以上で終わらせていただきます。</p> <p>~~~~~</p> <p>日程6 その他</p> <p>安田 教育長 それでは、日程6のその他に入ります。説明をお願いします。</p> <p>(説明)</p> <p>~~~~~</p> <p>日程7 閉会</p> <p>安田 教育長 以上をもちまして、12月の定例会を終了させていただきます。</p> <p>(閉会)</p>
--	---